

大阪樟蔭女子大学 心理学部
精神保健福祉士(国家資格)合格者数
全国女子大で4年連続 第1位

(※厚生労働省調べ、通信制大学を除く)

心理学部で社会福祉の国家資格を取得
～人のこころを理解した福祉の専門家育成をめざして～

大阪樟蔭女子大学(東大阪市、<http://www.osaka-shoin.ac.jp/univ>)心理学部は、2016年1月23日(土)・24日(日)に実施された「精神保健福祉士国家試験」の合格者数において、全国の女子大学で4年連続第1位を達成しました(※厚生労働省調べ、通信制大学を除く)。今回の合格者数は、新卒者16名、既卒者2名の計18名です。

(※2015年度の入学生より「心理学部」は「学芸学部 心理学科」に改組しました。)

【本件のポイント】

- 本学心理学部が「精神保健福祉士」の合格者数において、4年連続女子大1位を達成
- 社会で求められる、「人のこころを理解した福祉の専門家」の育成を目的に資格取得を推奨
- 即戦力として活躍できるよう実習にも力を入れ、資格取得者の就職率は4年連続100%を達成

【心理学を学びながら福祉の資格を取得する意味】

本学では、心理学をベースに福祉へと学びの幅を広げ、人の心を理解した福祉の専門家を育成することを目的に、国家資格である精神保健福祉士の資格取得を推奨しています。資格を取得するには、福祉系の学科・コースで精神保健福祉士法に定められた科目を履修し受験資格を得ることが多く、心理学系の学部・学科でこの資格をめざせる大学は珍しいとされています。

しかし今現場では、心理学の基盤がある資格保持者が強く求められています。精神保健福祉士の仕事においては、ソーシャルワーカーとして、うつ病や統合失調症、認知症、発達障がいなど、さまざまな病や障がいを持つ患者さんやその家族から、「病気に対する不安」「退院後の仕事について」など、生活全般の幅広い相談を受けるためです。

そこで本学では、こころに関する知識やカウンセリングの技術などがあれば、患者さんやその家族の不安を汲み、適切なコミュニケーションを取りながら、あたたかいサポートをすることができると考え、この資格が取得できるようにしています。

【資格取得者の就職状況について】

資格取得者の就職率は、4年連続100%(2012～2015年度)と極めて高い水準にあります。2015年度卒業生は、大半が医療機関や福祉施設、その他、市役所や社会福祉協議会などへ就職しています。



資格試験対策講座の様子

<本リリースに関するお問合せ先>

学校法人樟蔭学園 百周年記念事業本部 (担当: 宇高)
〒577-8550 東大阪市菱屋西4-2-26 / TEL:06-6723-8152 (直通)
FAX:06-6723-8263 (直通) / E-mail: 100th@osaka-shoin.ac.jp

【精神保健福祉士とは】

精神保健福祉士は、精神科ソーシャルワーカー（PSW:Psychiatric Social Worker）ともいわれる専門職で、1997年から国家資格となりました。社会福祉学を学問的基盤として、医療機関、福祉行政施設、生活支援施設などで活躍しています。精神障がい者やその家族から社会生活をはじめとした様々な相談に応じ、希望の実現に向けた計画・訓練を行うなど、その人らしい生き方ができるよう寄り添い、支えています。昨今のメンタルヘルスへの関心とニーズの高まりから、ハローワークなどへ、さらに活躍の場が広がっています。

また、政府の方針として、できるだけ入院している患者さんを社会へ送り出そうという動きがあります。そのため、入院患者さんの状態を見極めながら退院に導き、円滑に社会で生活できるようにする支援者（＝精神保健福祉士）が多数求められており、社会的ニーズの高い資格となっています。

【資格取得者を世の中に送り出すための本学の取り組み】**① 実習を通して社会で求められる実践力を育成**

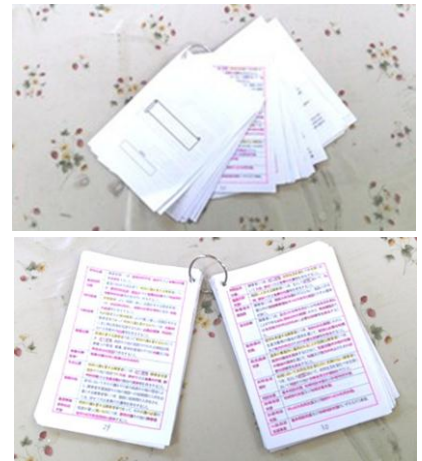
本学では、受験資格を得るための指定科目である実習に力を入れています。実習は、3回生の春休みに約2週間、4回生の夏休みに約3週間の計5週間、医療機関と福祉施設で行います。総実習時間は210時間。実際に患者さんや利用者さんと接しながら実務を学び、実践力を身につけます。

② 充実した試験対策で学生の受験をサポート

受験希望者は、4回生の1月下旬の受験に向け、4回生時に「精神保健福祉士演習」というカリキュラムで国家試験科目についてのまとめと過去問題、予想問題に取り組みます。さらに本学では、10～11月に受験対策講座を実施し、国家資格取得に向けてサポートしています。

このように資格取得には実習や試験対策など長期間に及ぶ学習が必要とされますが、2015年度は、心理学部4回生63名のうち33名が受験資格を取得し、本学は受験資格取得者数において全国有数の大学となっています（※厚生労働省調べ）。この背景には、オープンキャンパス時より、教員が高校生に精神保健福祉士という仕事の魅力を語るなど、資格や職業自体を知ってもらうための取り組みがあります。

今後も本学は、多くの学生が資格取得に励み、人の気持ちを汲むことのできる福祉の専門家を世の中に輩出することをめざしています。



精神保健福祉士の国家資格取得をめざす学生たちが、実習で分からないことがあったときのために、知識を集約し制作した「虎の巻」。90ページの大作に。

＜本リリースに関するお問合せ先＞

学校法人樟蔭学園 百周年記念事業本部（担当：^{うだか}宇高）
〒577-8550 東大阪市菱屋西4-2-26 / TEL:06-6723-8152（直通）
FAX:06-6723-8263（直通） / E-mail: 100th@osaka-shoin.ac.jp